



ちからこぶ

福祉通信「ちからこぶ」2009年1月号 佐藤 計衛 書

迎春



明けましておめでとうございます。

新春を迎え、皆様のご健勝を心からお慶び申し上げます。

旧年中は多くの皆さん方から暖かいご支援をいただき、誠に有難うございました。

お陰様で社協も大過なく新年を迎えることができました。

さて、厳しい不況が続き、先の見えない閉塞感が漂うなか、改めて勤儉、節約という言葉を出しておられる方も多いのではないのでしょうか。消費が美徳という幻想から現実に立ちかえる時が来たようです。

ところで、一月一日は通常の日より一秒長くなるそうです。日本時間の午前九時の直前、閏秒一秒が挿入されるためだとか。理由は、地球自転のふらつきが影響している由。それにしても、地球のふらつきの調整をたった一秒で正常に戻すことができるというのに、何故ちっぽけな世界不況がなかなか終息できないのでしょうか。

あくなき人間の欲望の結果とはいえ余りにも悲しいことです。だが、悲しんでばかりいられないのも現実です。

幸い今年^{つるう}は丑年。大きな角と愛嬌のある大きな顔、優しい目、がっしりした体躯。

ゆっくりと、しかし着実に大地を踏みつけ悠然と歩く牛にあやかり、のろくとも一歩一歩しっかり未来を見つめ希望をもって毎日を生き抜く事が大切だなと愚考する次第。

そして、今年の暮れの一年しめくくりの一言は是非「活」であってほしいと願い、皆さんと一緒に頑張りたいと思います。

どうか本年もよろしくお願い申し上げます。



山ノ内町社会福祉協議会 会長 篠原 正幸



